

2023年8月8日掲載 カーゴニュース

第一貨物

教育・研修の動画システムを導入

第一貨物（本社・山形県山形市、米田総一郎社長）はこのほど、教育・研修の高度化を図るため、動画を活用した教育・研修システムを全71拠点に導入した。同システムを活用し、ドライバーの教育・研修の精度を高めるとともに、従業員約4500人の情報共有インフラとしても活用する。

導入したシステムは、ClipLine（クリップライン、本社・東京都千代田区、高橋勇人社長）が開発した動画マネジメントシス



追突事故防止のための実況動画（45秒）

テム「ClipLine（クリップライン）」。ドライバー向けの教育動画をはじめ、全社に向けた社長メッセージ動画や、部門別の業務関連動画など約700本のコンテンツを配信することができる。ドライバーへの配信動画はパソコンやスマートフォンなどで視聴できる。業務の隙間時間でも簡易に視聴できるよう30秒〜1分程度に短縮した動画が

中心になっている。

同社経営企画部の檜野健一朗次長は「業務の隙間時間に負担なく学習できるクリップラインを導入したことで、集合研修を保管し、教育内容の均一化と学習機会の不足を補うことができ。また、社長のトップメッセージや好事例の動画を迅速に全社に配信でき、アンケート機能を使い、従来は紙ベースだった社内調査をクリップラインで行えるようになり、社内情報インフラとしても活用している」とコメントした。